富士山の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１）

萩原監視カメラ（富士山山頂の東南東約 18km）による観測では、噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図２、図３）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。

・地殻変動の状況（図４、図５）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。

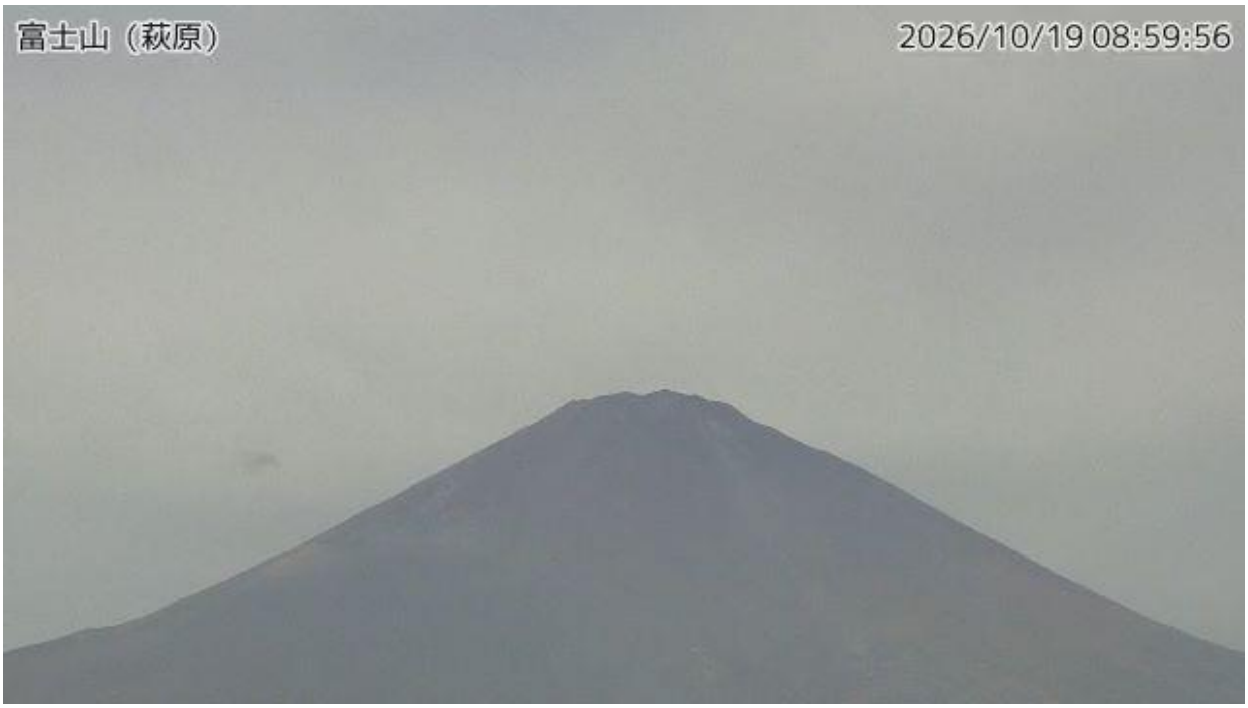


図１　富士山　山頂部の状況（10 月 19 日　萩原監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年 11 月分）は令和８年 12 月８日に発表する予定です。
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所、公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『基盤地図情報』『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

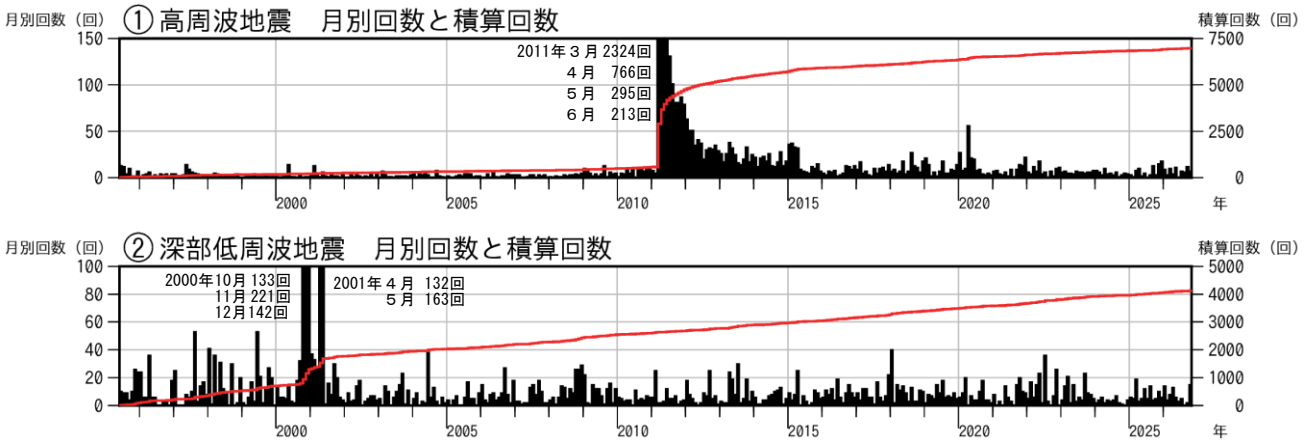


図２　富士山　月別地震回数（1995 年６月１日～2026 年 10 月 31 日）

①　高周波地震の計数基準

2011 年３月 22 日まで　富士山頂上下動振幅 0.5μm/s 以上、S-P 時間 3.0 秒以内

2011 年３月 23 日～　（防）富士第５上下動振幅 0.3μm/s 以上、S-P 時間 3.0 秒以内

ただし、欠測等の場合は代替点（富士山頂、太郎坊、（防）富士第６）により計数しています。

（防）は、国立研究開発法人防災科学技術研究所 を示します。

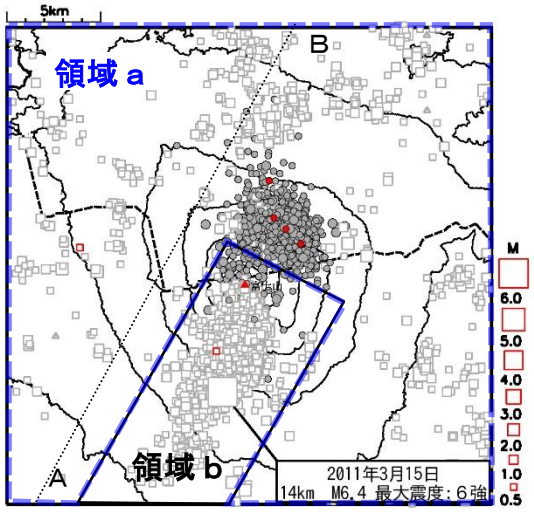
②　深部低周波地震の計数基準

広域地震観測網により震源決定された地震のうち、①と同じ基準を満たす地震。

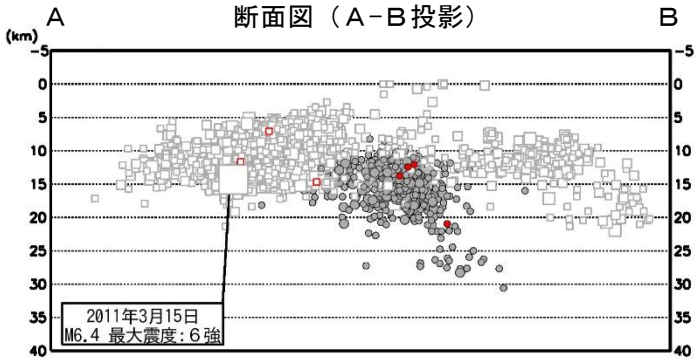
赤線は積算回数を示します。

・2011 年３月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したM6.4 の地震以降、地震活動が活発になりました。2016 年以降は、以前の状態までには戻ってはいないものの、概ね低調に経過しています。

震央分布図（M0.5 以上）



断面図（A－B投影）



●●：深部低周波地震　□□：高周波地震
灰色：1999 年 10 月１日～2026 年９月 30 日
赤色：2026 年 10 月１日～10 月 31 日

地震活動経過図及び回数積算図

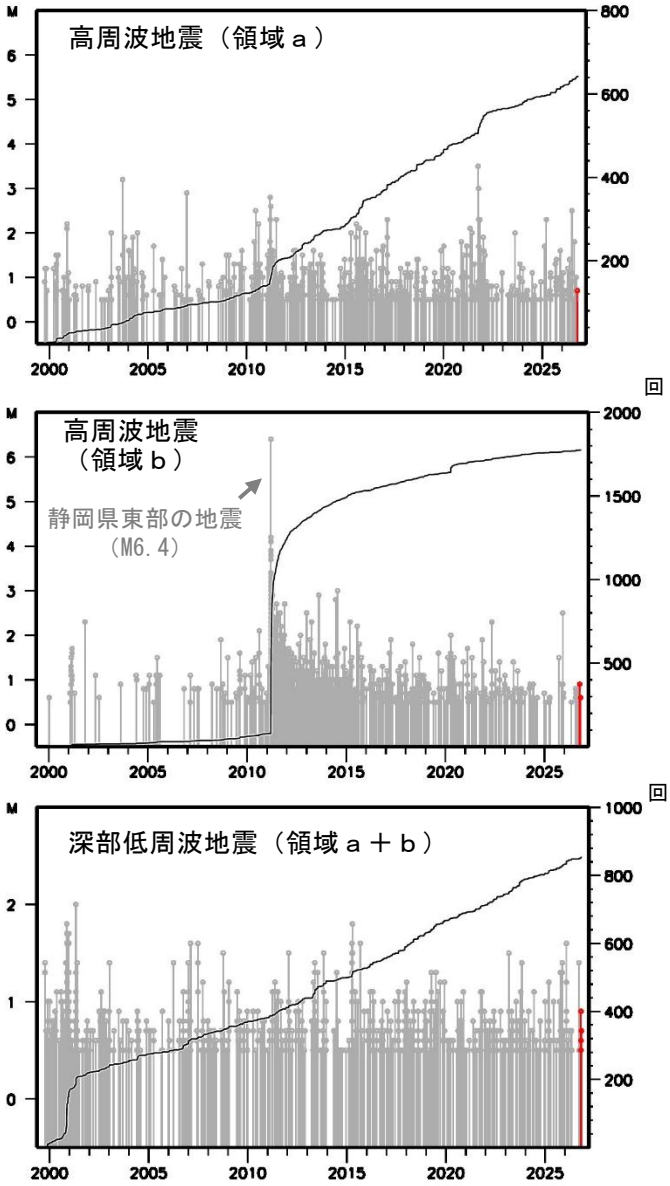


図３　富士山　広域地震観測網による山体及び周辺の地震活動（1999年10月１日～2026年10月31日）
広域地震観測網により震源決定したもの（M0.5 以上）で、深さは全て海面以下として決定しています。
M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

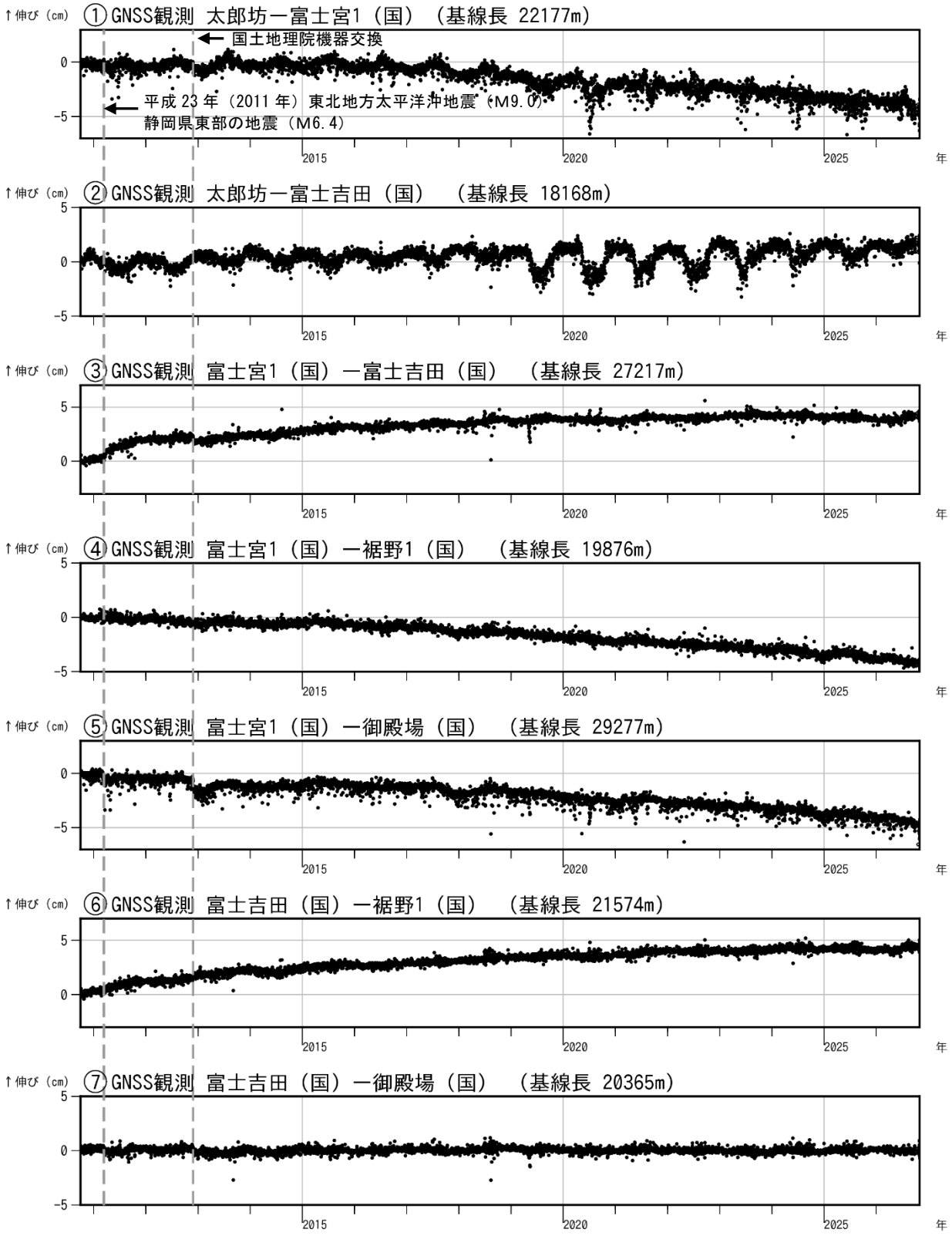
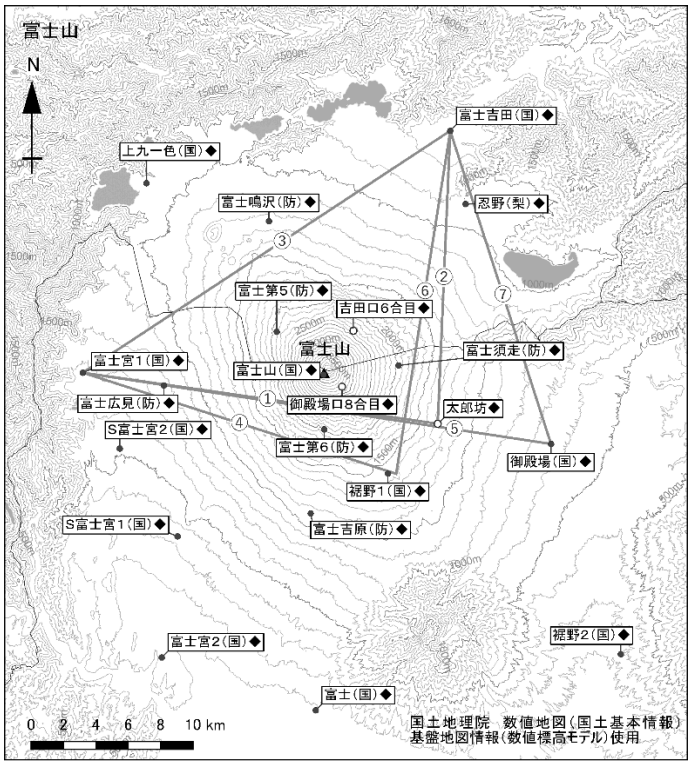


図４　富士山　GNSS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月１日～2026 年 10 月 31 日）
（国）：国土地理院
「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」及び 2011 年３月 15 日に発生した静岡県東部の地震（M 6.4）によるステップ状の変化を補正しています。
①～⑦は図５の GNSS 基線①～⑦に対応しています。

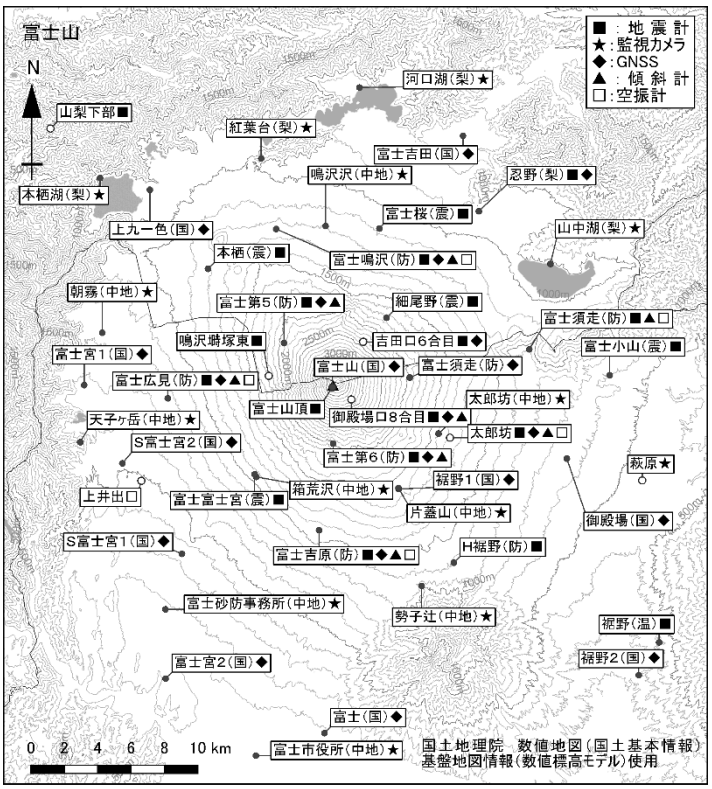
・火山活動によるとみられる変動は認められません。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（梨）：山梨県

図５　富士山　GNSS 観測点配置図

GNSS 基線①～⑦は図４の①～⑦に対応しています。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、（中地）：中部地方整備局、
（梨）：山梨県、（温）：神奈川県温泉地学研究所

図６　富士山　観測点配置図